

● Photo sketch ●



12/19 サンタはバスでやってくる?!

駄知幼稚園の園児49人が同町にある東濃鉄道土岐営業所を訪れ、手作りのクリスマス飾りで路線バスの車内にぎやかに演出しました。

乗客に楽しいひとときを過ごしてもらい、公共交通への関心を高めようと、同社と市が協力した初の試み。折り紙や画用紙などで作られた飾りは、サンタクロスやトナカイなど150個以上におよびました。

園児らは「乗った人をびっくりさせたい」と話し、クリスマスバスの完成を喜んでいました。



1/5 舞い降りたかな?本の神様

普段は読むことのない分野の本に興味を持ってもらい読書を普及させようと、市図書館で「本の福袋」の貸し出しが行われました。

福袋には「福を呼び込もう」「おとなのえほん」などのテーマごとに、本3冊とおみくじや読書通帳などが入り、大人用15袋、子ども用20袋が用意されました。

開館と同時に詰めかけた来館者は、「自分の知らない世界の本に巡り合えるチャンス」と中身を楽しみにしていました。



1/6 市民の安全・安心に向けて 出発、敬礼!

消防出初式が行われ、消防団員や音楽隊約300人、消防ポンプ車など25台が出動しました。文化プラザでは、日々消防活動に尽力している方々の功績を称えた表彰式が行われ、駅前通りでは各分団や消防車両などの規律正しい分列行進が行われました。

土岐川河川敷では、幼年消防クラブ員(花園保育園児)の“火の用心”を呼び掛ける愛らしい演技や、7色の水を使った各分団の斉放水も披露され、詰め掛けた多くの見物客を沸かせました。



1/13 アップダウンも何のその!

晴れ渡る青空の下、第34回駄知町一周駅伝大会が行われ、23チーム・181人が同町を駆け巡りました。

コースは6.3kmを6区間に分け、全チームがたすきをつないで完走。全区間を1人で走り抜く独走部門では、20人のランナーが汗を流し、沿道では地元住民らが温かい声援を送っていました。

走破したランナーは、「地元を走って気持ち良かった」「仲間との良い思い出になった」などと爽やかに話してくれました。

12/13 一票の大切さ 行こう選挙!

土岐紅陵高校の2・3年生が、選挙年齢の引き下げや4月に行われる統一地方選挙の前に、主権者としての自覚や選挙制度について理解を深めました。

生徒らは、選挙権が拡大してきた経緯や、選挙公報から候補者や政党の情報が得られること、若者の投票率の低さなど選挙のいろはや現状を学んだ後、選挙当日さながらの模擬投票を体験。

講義を終えると「自分たちの投票がよりよい国づくりにつながると分かった」と、主権者になる自覚を力強く話してくれました。




1/13 希望を持って羽ばたこう

文化プラザで成人式典が開催され、スーツや振り袖姿の新成人442人が晴れやかに出席しました。

各校の代表12人が式典を進行し、ステージ企画では学校生活を振り返るスライドショーなどの上映や、登壇した恩師へのインタビューも行われ、思い出話を花を咲かせました。

恩師からは「人との出会いを大切に、努力を続けて幸せをつかんでください」「しっかり働き、立派な大人になってください」など、祝福と激励の言葉が贈られました。

Voice



人生の目標を実現するために行動できる大人になります。これまで支えてくれた家族や周りの方への感謝の気持ちを胸に、一人一人が大人としての自覚と責任、そして大きな希望を持って、未来に向かって歩み続けていきましょう。

成人式実行委員長 真田尚輝さん

